

第2期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略 における具体的目標（KPI）の実績値

第2期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的目標（KPI）の実績値

I 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現



① 若い世代の就職・結婚・出産・子育ての希望を実現する

若者や女性の安定した雇用に向けた支援や男女共同参画施策、子育て環境の充実等に取り組みました。

「目標達成状況」

合計特殊出生率は戦略策定時より低下していますが、若い世代の就業率はKPIを達成することができ、女性の就業率に関する指標については、KPIを達成していないものの一定の改善傾向が見られます。

具体的目標 (KPI)	戦略策定時	実績値 (R6.10月時点)	達成 状況	実績値	達成 状況	参考指標		
○就業率（15～34歳） ：全国平均を上回る	【2018年】 64.96% (全国 66.09%)	【2023年】 68.63% (全国68.19%)	A	【2024年】 70.71% (全国69.13%)	変更 なし	年齢別就業率 【2024年】	15～24歳	男性 50.46% (+3.29) 女性 55.32% (+1.53)
○女性の就業率 ：全国平均を上回る	【2018年】 48.65% (全国 51.33%)	【2023年】 52.57% (全国53.56%)	B	【2024年】 53.53% (全国54.24%)	変更 なし	年齢階級別女性の 有業率 【2024年】	25～34歳	89.31% (+1.66) 83.13% (+1.51)
○合計特殊出生率 ：前年を上回る	【2018年】 1.35	【2023年】 1.19	D	【2024年】 1.14 (概数)	変更 なし	出生数 【2024年】	53,351人(概数)（前年比▲1,941人）	
						有配偶出生率 【2020年】	79.1%（全国74.6%） ※有配偶出生率：（年間の出生数/女性有配偶人口（15～49歳））×1,000	
						初婚年齢 【2023年】	女性29.7歳、男性30.9歳	
						保育所数 【2024年】	2,908か所（前年比+45か所） ※2019年(2,428か所)比 +17.9%	
						待機児童数 【2024年】	111人（前年比▲36人） ※2019年(589人)比 ▲81.2%	

A：KPI目標値を達成。 B：KPI目標値は達成していないが、改善・増加した。 C：改善・増加していない。 D：計画当初より低下している。

第2期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的目標（KPI）の実績値

I 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現



② 次代の「大阪」を担う人をつくる

子どもたちの学力や体力の向上、生きる力をはぐくむ教育等に取り組むとともに、いじめや児童虐待等の子どもをめぐる課題への対応を推進しました。

≪目標達成状況≫

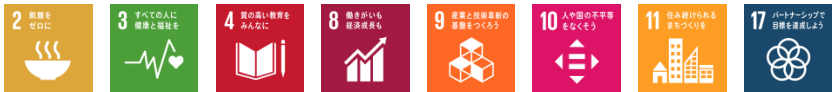
学力の向上、体力の向上及び高校卒業者の就職に関する指標は、KPIを達成していないものの一定の改善傾向が見られます。

具体的目標 (KPI)	戦略策定時	実績値 (R6.10月時点)	達成 状況	実績値	達成 状況	参考指標	
○全国学力・学習状況調査における平均正答率 ：全国水準の達成・維持をめざす	【2019年度】 小：63.4% （対全国差：▲1.8） 中：64.2% （対全国差：▲2.1）	【2023年度】 小：64.1% （対全国差：▲0.8） 中：59.0% （対全国差：▲1.4）	B	【2024年度】 小：64.5% （対全国差：▲1.1） 中：54.0% （対全国差：▲1.3）	変更 なし	学力調査の 詳細結果 【2024年度】	学力調査 対全国比 小学校：国語 0.975 算数 0.994 （前年比 ▲0.007 ±0） 中学校：国語 0.981 数学 0.971 （前年比 +0.007 ▲0.007） ※対全国比：府平均正答率÷全国平均正答率
○全国体力・運動能力、運動習慣等調査における評価 ：全国水準をめざす （体力テストの5段階総合評価で下位段階（D・E）の児童の割合（小5））	【2018年度】 男子：33.7% （対全国差：+4.9） 女子：28.3% （対全国差：+5.8）	【2023年度】 男子：40.3% （対全国差：+4.5） 女子：35.5% （対全国差：+6.2）	C	【2024年度】 男子：39.5% （対全国差：+3.6） 女子：35.7% （対全国差：+4.9）	C ↓ B		CEFR A2レベル以上の高校3年生の割合 【2023年度】
○高校卒業生就職率 ：全国水準をめざす	【2018年度】 95.2% （対全国差：▲3.0）	【2023年度】 96.3% （対全国差：▲1.7）	B	【2024年度】 96.4% （対全国差：▲1.6）	変更 なし		56.1% （前年比+5.3）

A：KPI目標値を達成。 B：KPI目標値は達成していないが、改善・増加した。 C：改善・増加していない。 D：計画当初より低下している。

第2期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的目標（KPI）の実績値

Ⅱ 人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり



③ 誰もが健康でいきいきと活躍できる「まち」をつくる

府民一人一人の健康づくりの促進、高齢者がいきいきと生活できる地域づくりや高齢者・障がい者などあらゆる人の就労・職場定着に向けた取組を進めました。

＜目標達成状況＞

障がい者実雇用率はKPIを達成することができました。健康寿命はKPIを達成していないものの、一定の改善傾向が見られます。

具体的目標 (KPI)	戦略 策定時	実績値 (R6.10月 時点)	達成 状況	実績値	達成 状況	参考指標	
○健康寿命 ：2歳以上 延伸	【2013年】 男性70.46歳 女性72.49歳 【2016年】 男性71.51歳 女性74.46歳	【2019年】 男性 71.88歳 女性 74.78歳	B	【2022年】 男性71.77歳 女性74.95歳	変更 なし	平均寿命 【2020年】	男性80.81歳（全国81.49歳）、女性87.37歳（全国87.60歳） （前回調査の2015年比男性+0.58歳、女性+0.64歳）
						死因別死亡確率 【2020年】	第1位 悪性新生物（男性28.79% 女性20.51%） 第2位 心疾患（高血圧性を除く）（男性15.41% 女性17.63%） 第3位 肺炎（男性8.34%）、老衰（女性7.08%）
						特定健診受診率 【2023年度】	54.8%（前年度比+0.4）全国59.7%
						がん検診受診率 【2022年度】 （40歳～69歳）	・胃がん 男性43.1%、女性31.3% ・大腸がん 男性43.0%、女性37.9% ・肺がん 男性46.6%、女性38.4%
						要介護認定率 【2020年】	22.3%（前年度比+0.6） （全国18.7%を3.6上回り、全国ワースト1位） ※要介護認定率：65歳以上の被保険者のうち、要介護・要支援の認定を受けた者の割合
○府内民間 企業の 障がい者 実雇用率 ：2.3% 以上	【2019年】 2.08%	【2023年】 2.35%	A	【2024年】 2.44%	変更 なし	就業率 （女性・若者・高齢者） 【2024年】	・女性 53.5%（全国54.2%）（前年比+0.9(全国+0.6)） ・若者（15～34歳）70.7%（全国69.1%）（前年比+2.1(全国+0.9)） ・高齢者（65歳以上）22.7%（全国25.7%）（前年比+0.8(全国+0.5)）
						法定雇用率達成企業の 割合【2024年度】	41.7%（前年比▲4.4）全国46.0%（前年比▲4.1）

A：KPI目標値を達成。 B：KPI目標値は達成していないが、改善・増加した。 C：改善・増加していない。 D：計画当初より低下している。

第2期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的目標（KPI）の実績値

Ⅱ 人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり



④ 安全・安心な地域をつくる

大規模災害に備えた防潮堤の強化や密集市街地対策の取組による安全・安心の確保のほか、プラスチックごみ対策や温室効果ガス排出量の削減等、環境にやさしい都市の実現に向けて取り組みました。

≪目標達成状況≫

いずれもKPIを達成していませんが、戦略策定時より一定の改善傾向が見られます。

具体的目標 (KPI)	戦略策定時	実績値 (R6.10月時点)	達成 状況	実績値	達成 状況	参考指標	
○地震による被害予測 ：限りなくゼロに (2024年まで)	約134,000人 (2013年度 公表)	【2018年度】 24,000人 (推定値) ※2018年度ま での主要な施設 整備効果を見 込んだもの	B	現在、新たな 被害想定の見 直しを行って いるところ	変更 なし	大阪府強靱化地域計 画の進捗状況	同計画の進捗状況の評価結果として、2024年度は、「起きてはならない最悪の事態」ごとの施策の進捗状況の評価について、41項目全てについて概ね計画通り進んだ。
						密集市街地対策の状 況	府内の「地震時等に著しく危険な密集市街地」取組方針決定時の取組が必要な面積2,248ha（平成24年度末時点）が令和6年度末時点で425haとなった。
○温室効果ガス排出量 ：2030年度の府域 の温室効果ガス排出 量を2013年度比で 40%削減	【2018年度】 2013年度比 19.1%削減	【2021年度】 2013年度比 24.3%削減	B	【2022年度】 2013年度比 19.4%削減	変更 なし	温室効果ガス 排出量の内訳 【2022年度】	単位：万t-CO ₂ （前年度比） 二酸化炭素 4,134（+8.6%） 産業部門 1,021（+3.5%） 業務部門 1,251（+6.4%） 家庭部門 1,121（+22.7%） 運輸部門 582（+1.2%） エネルギー転換部門 29（▲5.2%） 廃棄物部門 131（+2.8%） メタン 18（▲4.8%） 一酸化二窒素 35（▲5.8%） 代替フロン等 347（▲2.6%）

A：KPI目標値を達成。 B：KPI目標値は達成していないが、改善・増加した。 C：改善・増加していない。 D：計画当初より低下している。

Ⅲ 東西二極の一極としての社会経済構造の構築



⑤ 都市としての経済機能を強化する

人材確保の推進やグローバル化の促進などによる中小企業支援や、企業立地の促進に取り組む等、コロナ等で多大なダメージを受けた大阪経済の立て直しに向けた取組を進めました。

◀目標達成状況▶

経済成長率は一定の改善傾向がみられるものの、開業事業所数については戦略策定時より低下しました。

具体的目標 (KPI)	戦略 策定時	実績値 (R6.10月時点)	達成 状況	実績値	達成 状況	参考指標	
○経済成長率（実質） ：2022年度に府内総生産（実質）をコロナ前の水準に戻す。 それを踏まえ、年平均2%以上（第2期戦略計画期間）	【2016年度】 経済成長率（実質） 0.0%	経済成長率（実質） 【2017年度】3.0% 【2018年度】0.2% 【2019年度】-1.7% 【2020年度】-4.1% 【2021年度】2.5% 【2022年度】1.3%（推計）	B	【2022年度】 経済成長率（実質） 3.2% 【2020年度～24年度】 経済成長率（実質） 平均0.6%（23、24年度推計）	変更なし	有効求人倍率【2024年度】	1.21倍（前年度比▲0.06） （全国1.25倍）
						充足率（求人数に対する充足された求人割合）【2023年度】	9.7%（前年度比+0.3） （全国11.8%）
						外国人労働者数【2024年】	174,699人 （2018年からの6年間で+63%）
						転入、転出企業数【2024年】	転入 174社 転出 212社 転出超過 38社（前年度比▲3社）
○開業事業所数 ：10,000か所	【2018年度】 8,463か所	【2022年度】 8,259か所	D	【2023年度】 8,273か所	変更なし	開業数の全国シェア【2023年】	8.9%（前年度比▲0.1） （参考：東京18.9%（前年度比+0.1））
						廃業率【2023年】	8.7%（前年比+5.6）

A：KPI目標値を達成。 B：KPI目標値は達成していないが、改善・増加した。 C：改善・増加していない。 D：計画当初より低下している。

第2期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略における具体的目標（KPI）の実績値

Ⅲ 東西二極の一極としての社会経済構造の構築



⑥ 定住魅力・都市魅力を強化する

スマートシティ推進による住民のQOL向上のほか、国内外からの集客促進や外国人観光客の受入環境整備など、定住魅力の強化や都市魅力の創出・発信に向けた取組を進めました。

《目標達成状況》

対全国の転入超過率はKPIを達成することができ、来阪外国人旅行者数、日本人・外国人の延べ宿泊者数もコロナ前より増加しました。一方、対東京圏の転出超過率は依然としてKPIを達成していません。

具体的目標 (KPI)	戦略 策定時	実績値 (R6.10月時点)	達成 状況	実績値	達成 状況	参考指標	
○転入超過率（対全国） ：前年を上回る	【2018年】 0.06%	【2023年】 0.12%	A	【2024年】 0.19%	変更 なし	転出入状 況 【2024年】	・転入状況 転入人数183,472人 主な転入元は、 関西圏（39.7%）、 東京圏（20.7%）、 東海・北陸 （12.2%） ・転出状況 転出人数166,624人 主な転出先は、 関西圏（36.9%）、 東京圏（29.1%）、 東海・北陸 （10.7%）
○転出超過率（対東京圏） ：前年を下回る	【2018年】 0.13%	【2023年】 0.12%	B	【2024年】 0.12%	変更 なし		
○来阪外国人旅行者数 ：1,500万人 ※【2025年の達成を目標とする】	【2019年】 1152.5万人	【2020年】 127.7万人 ※2020年4月～ 2023年3月は 調査なし	—	【2024年】 1409.4万人	— ↓ B		
○（外国人延べ宿泊者数（大阪））	【2019年】 1,793万人泊	【2023年】 1,876万人泊	(A)	【2024年】 2,534万人泊	変更 なし	延べ宿泊者 数 (大阪)	2025年7月： 501万人泊 うち、外国人延べ 宿泊者数： 242万人泊 ※2019年7月：418万 人泊 うち外国人延べ宿泊者数 ：176万人泊
○日本人延べ宿泊者数（大阪） ：3,400万人泊 ※【2025年の達成を目標とする】	【2019年】 2,950万人泊	【2023年】 3,195万人泊	B	【2024年】 3,111万人泊	変更 なし		

A：KPI目標値を達成。B：KPI目標値は達成していないが、改善・増加した。C：改善・増加していない。D：計画当初より低下している。